

ふくしま復興再生道路の取り組み



県北建設事務所
道路課 主査 渡辺研也

国道114号、国道349号、(主)原町川俣線

1. ふくしま復興再生道路

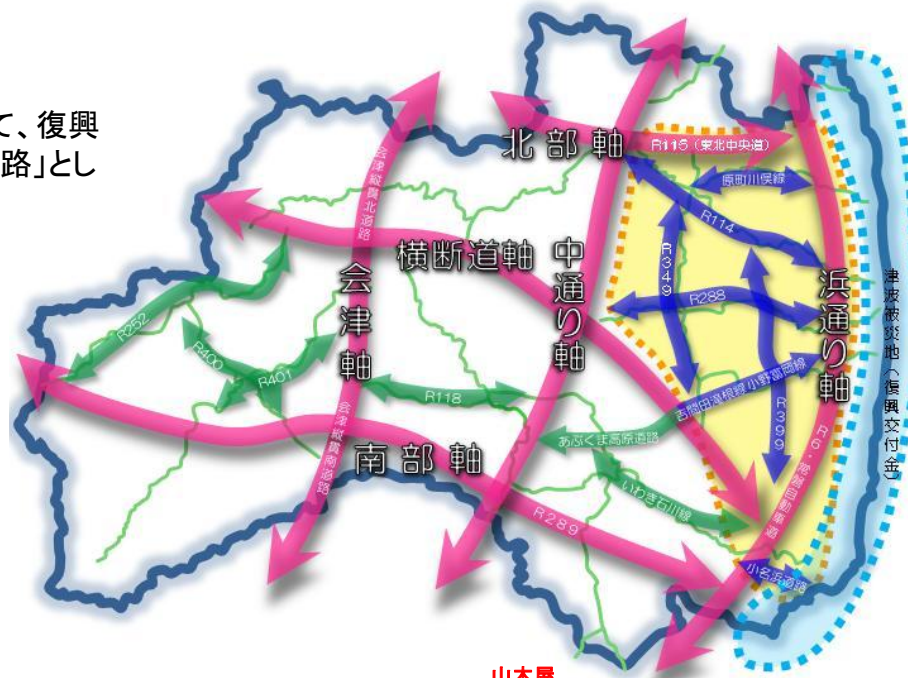
・原子力発電所事故により、避難指示が発出された地域周辺について、復興と避難住民の帰還を加速させるため、8路線を「ふくしま復興再生道路」として位置づけ整備を進めている。

「ふくしま復興再生道路」

- ① (仮称) 小名浜道路
- ② 国道114号
- ③ 国道288号
- ④ 国道349号
- ⑤ 国道399号
- ⑥ 原町川俣線
- ⑦ 小野富岡線
- ⑧ 吉間田滝根線

県北管内では
国道114号、国道349号、原町川俣線

凡 例	
	ふくしまづくりプラン (福島県全域)
	津波被災地
	復興に向けた戦略的道路整備の エリア
	県土連携軸交流ネット ワーク基盤強化道路 (県復興計画重点プロジェクト)
	基幹的な道路 (6本の連携軸)
	ふくしま復興再生道路 (改築系8路線)
	地域連携道路 (地域高規格道路以外)



2. 国道114号の状況

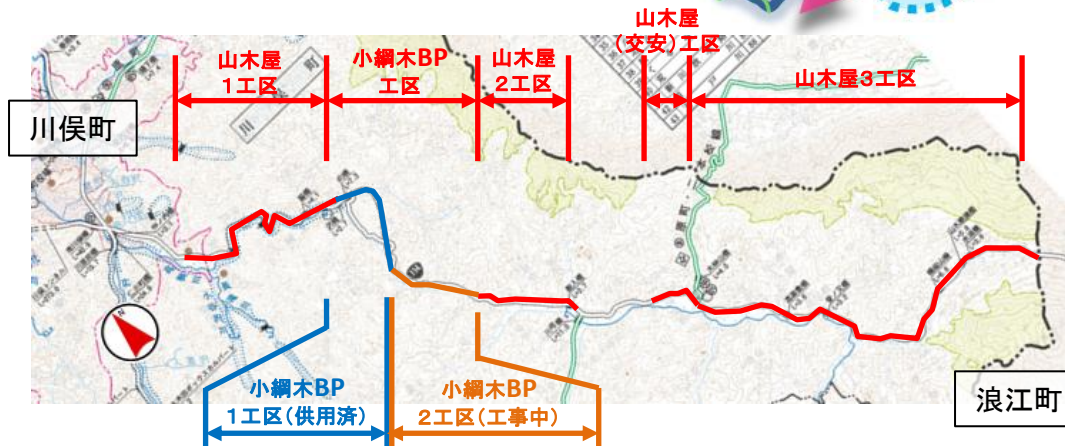
- ・県北管内と浪江町を結ぶ路線。避難者の一時帰宅ルート。
- ・川俣町 小綱木地区～山木屋地区の道路改良。
- ・小綱木BP1工区は、平成25年4月23日開通。
急勾配、急カーブの区間をトンネルで解消。
- ・小綱木BP2工区は、現在施工中。
- ・山木屋1, 3工区については、測量・設計等を実施中。



小綱木BP開通式



小綱木BP改良前の状況



浪江町

3. 国道349号の状況

- ・阿武隈高地を南北に走る路線。
- ・通行が制限されている浜通りの迂回路として交通量が増加。
- ・川俣町大綱木工区及び二本松市杉沢工区の道路改良。
- ・両工区とも、測量・設計等を実施中。

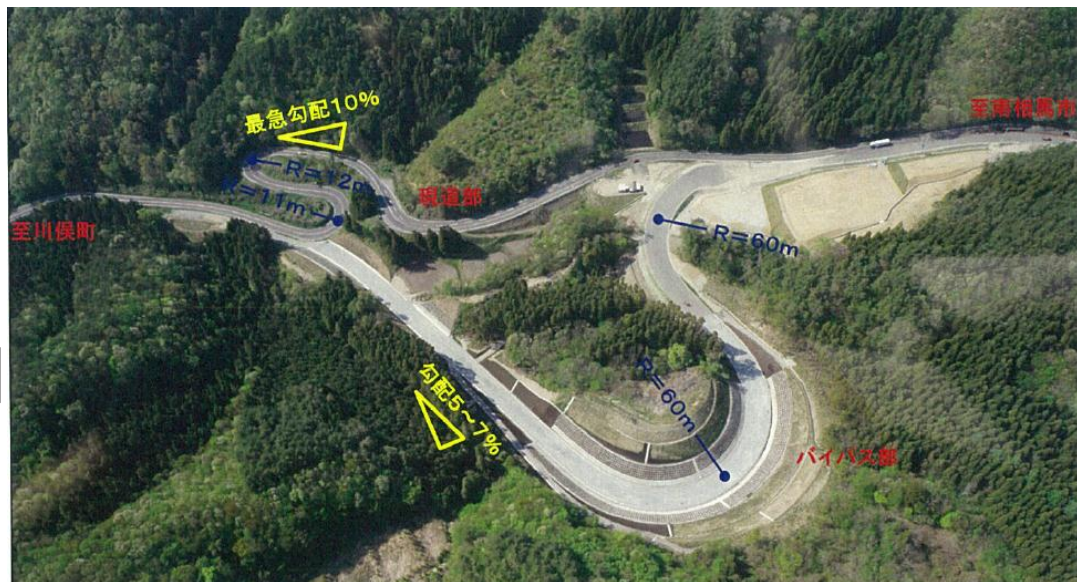
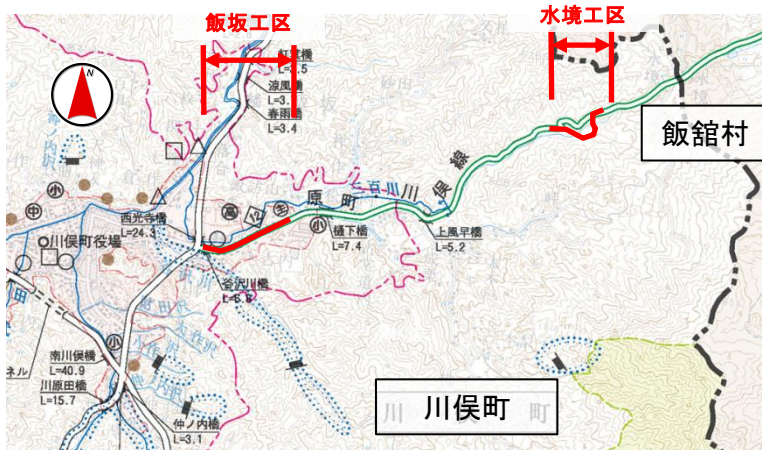


大綱木工区の説明会の様子



4. (主)原町川俣線の状況

- ・川俣町と飯舘村、南相馬市を結ぶ路線。
- ・震災以降交通量が増加。
- ・川俣町水境工区及び飯坂工区の道路改良。
- ・水境工区は、平成25年11月29日供用開始。
- ・急勾配、急カーブ区間をバイパスにより解消。
- ・工程調整により降雪の前に供用開始ができた。
- ・飯坂工区は、測量・設計等を実施中。



水境工区の改良概要

5. おわりに

- ・いずれの路線についても、震災以降その役割の重要性が高まっているため、車両の通行を確保しながら施工できるような工程管理や設計段階での十分な検討をしていくとともに、一日でも早い供用ができるよう取り組んでいきたい。